

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 広島市地域公共交通計画の改定業務の概要



## 広島市の概要

- 昭和60年五日市町を合併、平成17年湯来町を合併
- 人口 120.7万人（令和2年度国勢調査）
- 面積 906.69平方キロメートル
- 高齢化率25.7%

## 広島市地域公共交通活性化協議会の構成員

広島市、西日本旅客鉄道(株)、広島高速交通(株)、広島電鉄(株)、広島県バス協会、広島県タクシー協会、広島県旅客船協会、(株)広島バスセンター、広島国道事務所、広島県、中国地方整備局、中国運輸局、広島県警察本部、学識経験者、広島市社会福祉協議会、広島消費者協会

## 地域公共交通の現況



## 地域公共交通の現状

- ・鉄軌道：JR山陽新幹線、JR山陽本線、可部線、芸備線、呉線  
アストラムライン、広島電鉄宮島線、路面電車
- ・航路：瀬戸内海汽船(株)、上村汽船(株)、似島汽船(株) ほか5社
- ・路線バス：広島電鉄(株)、広島バス(株)、広島交通(株) ほか9社
- ・乗合タクシー：市内7地区（福田地区、戸坂地区、大塚地区ほか4地区）
- ・乗用タクシー：63社（広島県タクシー協会加盟）ほか個人タクシー組合3団体

## 具体的な課題・問題点

- ・人口減少・少子高齢化の進展や運転手不足の深刻化
- ・地域公共交通の持続可能性の確保
- ・マイカー利用の増加及びデジタル技術の進歩等に伴う公共交通利用の減少
- ・自然災害の激甚化・頻発化への対応
- ・AI 技術を活用した新たな交通サービスへの対応

※現在、協議会で検討・協議を実施中

## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・仮説の立案
- ・データ収集・分析
- ・課題の整理
- ・課題解決の方向性及び具体策の検討
- ・地域公共交通計画の基本構成（たたき台）作成

## 協議会における検討

- <協議会の開催状況（3回開催）>
- ・第1回（令和7年8月29日付けで承認）  
※書面審議  
計画改定の概要及び進め方について
  - ・第2回（令和8年2月3日協議予定）  
地域交通の課題の共有について
  - ・第3回（令和8年3月下旬協議予定）  
課題の整理について ほか

## 地域住民の意見の反映

- ・協議会への公共交通の利用者代表の参画
- ・市民意識調査や様々な市民意見募集などの機会を捉えて、市民意見を聴取
- ・課題の整理を行うにあたり必要なアンケート調査やヒアリングを実施予定
- ・令和8年度には、計画素案についてパブリックコメントを実施予定

## 事業実施の適切性

- ・事業が計画どおり適切に実施された。  
（地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。）  
**※現在、事業実施中**

## 調査事業の結果の概要

- ・利用者ニーズや運行実態など日常的に蓄積されてきた課題を利用者や行政、交通事業者、学識経験者等多様な関係者から抽出し、課題の共通認識を形成した。（令和8年2月3日 協議予定）
- ・今後は運行データ、移動時間データや土地利用データなど多様なデータを収集・分析し、課題を整理した上で、課題解決の方向性及び具体策について、協議会での議論を予定。（令和8年3月下旬協議予定）  
さらに令和8年度には、今年度の議論を深化させ、最終的に地域公共交通計画として取りまとめる予定。



## 地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

- ・広島市では、近隣の32市町と構成する広島広域都市圏内のヒト・モノの「循環」と地域住民の活動による「循環」を直接支えている「移動」を容易にするため、公共交通を道路と同様に「社会インフラ」と捉えた上で、交通事業者や行政をはじめとした関係者が、交通モードや事業者間の垣根を超えて、地域や他分野（観光・福祉・教育・医療など）を含めて「協調」して運用するものへと舵を切り、公共交通全体をシームレスで、わかりやすく使いやすいものへと抜本的に見直す「広島型公共交通システムの構築」に向けて取り組む。
- ・令和8年度は、多様な関係者が共通の目標を掲げ、今後5年間に実施する具体的な取組を地域公共交通計画に取りまとめる予定としている。



# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 庄原市地域公共交通会議（地域公共交通計画策定事業）の概要

## 庄原市の概要

- 平成17年3月に1市6町が合併
- 人口 33,633人（令和2年10月1日現在）
- 面積 1,246.49km<sup>2</sup>

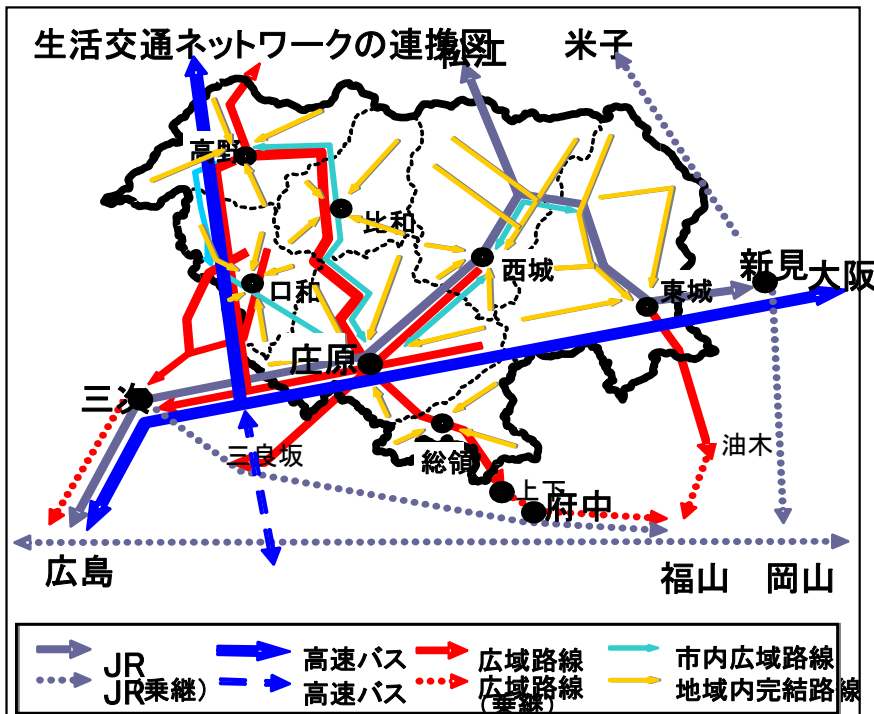
## 庄原市地域公共交通会議の構成員

庄原市、広島県、中国運輸局広島運輸支局、学識経験者、住民または利用者の代表 備北交通(株)、(有)石田タクシー、私鉄中国地方労組備北支部、商工団体、観光団体

## 地域公共交通の現状

- 鉄道：JR芸備線・木次線、高速バス：備北交通(株)
- バス路線：備北交通(株)25系統、・廃止代替等バス路線（西城・東城地域）
- 庄原地域、比和地域及び総領地域市営バス
- 予約乗合タクシー（東城、口和及び高野地域）：市民タクシー
- 自家用有償旅客運送（総領地域）・高齢化率44.9%

## 地域公共交通の現況



## 具体的な課題・問題点

- 移動手段を持たない市民の生活交通の確保
- 過疎化、高齢化への対応
- 交通事業者の経営環境の悪化
- 生活交通維持確保に係る行政負担の抑制
- 交通事業者の運転手不足への対応

## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- 現況・交通実態調査（人口、高齢化、地形）
- 問題点・課題等の整理。公共交通のニーズの把握
- 計画の基本方針の検討、施策の検討
- 計画書原案の作成
- 地域公共交通会議の開催

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（6月13日）調査の進め方
  - ・第2回（8月26日）ワーキング会議設置と取り組み状況
  - ・第3回（12月25日）計画骨子案
  - ・下部組織にワーキング会議を設置し検討  
7/30、8/19、9/8、11/26に開催
  - ・以後第4回以降で素案等を審議予定

## 地域住民の意見の反映

- ・7地域（旧市町）の自治振興区等で地域公共交通に対するヒアリングを行った。
- ・10月に市内3,000人を対象にアンケート調査を実施し、1,574人件の回答を集計（回収率52.4%）
- ・10月に高校生とその保護者にアンケート実施
- ・7月～8月に交通事業者ヒアリングの実施
- ・今後パブリックコメントを求める予定

## 事業実施の適切性

- 事業は計画どおり適切に実施している。
- ・地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

- ・ワーキング会議の開催により、地域特性に応じた多様な交通サービスの構築、広域交通ネットワークの維持・強化、地域拠点を活用した公共交通の充実、まちづくりや他の分野とも連携した公共交通の魅力向上、利用者の視点に立った情報提供とコミュニケーション、多様な主体との共創による持続可能な公共交通の実現 が求められていることを把握した。
- ・地域ヒアリングではワーキング会議で出た意見を裏付ける意見が出された。
- ・市民アンケートでは交通拠点の整備、ドアツードア型の交通モードのニーズ、公共ライドシェアの利用や参画意向等が得られた。
- ・高校生アンケートでは生徒の約半数が送迎により通勤していることを把握した。
- ・交通事業者ヒアリングでは運転手の高齢化や新規採用が困難で事業継続に不安を抱えていることを把握した。



## 地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

課題解決の方向性として、次の基本的な方針を導き出している。

- ①地域特性に応じた多様な交通サービスの構築
- ②広域交通ネットワークの維持・強化
- ③地域拠点を活用した公共交通の充実
- ④まちづくりや他の分野とも連携した公共交通の魅力向上
- ⑤利用者の視点に立った情報提供とコミュニケーション
- ⑥多様な主体との共創による持続可能な公共交通の実現

策定しようと計画において  
目指す公共交通の将来イメージ図

補足資料

# 庄原市地域公共交通計画策定事業 補足資料

## 庄原市における公共交通の課題と課題解決の方向性、目指す姿を実現するための戦略

### 公共交通の 目指す姿

- 公共交通により社会参加の機会が確保され、市民が**生きがいを持って元気に暮らしている**
- 公共交通によって外出回数が増え、人々の交流が促進されることで、**まちが賑わっている**
- 公共交通を使って通学・通勤や通院、買い物の目的で移動できる、**地域の特性に応じた柔軟な交通サービスが提供されている**
- 夜間や休日にも**公共交通を利用して外出・移動・帰宅**できる
- 公共交通を利用して、**近隣の都市との間を移動**できる
- 多様な主体が連携・協働によって、公共交通が**持続可能なもの**となっている

### 庄原市における公共交通の課題

- 課題1. 人口構造や産業構造、認識の変化への対応
- 課題2. 新たな需要の掘り起こし
- 課題3. 需要の平準化
- 課題4. 福祉・教育などの分野との役割分担
- 課題5. 地域の拠点機能の充実
- 課題6. 山間部やバス路線から離れた地区の利便性確保
- 課題7. 乗り継ぎの負担軽減
- 課題8. 夜間・休日や観光に対応した移動手段の確保
- 課題9. 公共交通の運行効率化
- 課題10. 新たな技術・知識の活用
- 課題11. 公共交通に関するわかりやすい情報の提供
- 課題12. 公共交通の現状や今後の取組への理解促進
- 課題13. 運転手の不足や高齢化への対応
- 課題14. タクシーなどの車両台数不足への対応
- 課題15. 市の公共交通に対する財政支出の抑制

### 課題解決の方向性(基本的な方針)

#### 地域特性に応じた多様な交通サービスの構築

人々の暮らしを支えるため、地域ごとの移動ニーズや生活スタイルに対応した、柔軟で利用しやすい交通サービスを提供します。

#### 広域交通ネットワークの維持・強化

近隣都市との移動手段を確保し、市内交通との接続を改善することで、広域的な移動を支えます。

#### 地域拠点を活用した公共交通の充実

交通結節点となる地域拠点の機能強化・充実を図り、拠点を中心に置いた使いやすい公共交通網を構築します。

#### まちづくりや他の分野とも連携した公共交通の魅力向上

福祉・健康・観光等の施策と連携し、公共交通を単なる移動手段としてだけでなく、外出や交流を促進するツールになるよう魅力向上に取り組みます。

#### 利用者の視点に立った情報提供とコミュニケーション

わかりやすい情報提供と地域との対話を通じて、誰もが安心して利用できる環境を整えます。

#### 多様な主体との共創による持続可能な公共交通の実現

行政・事業者・地域が協働し、効率化と担い手確保により安定的で持続可能な公共交通を構築します。

### 目指す姿を実現するための戦略

#### 戦略1 地域に適した交通モデルの構築

主な事業: 多様な交通モードによる地域内交通(支線)の構築、地域の輸送資源活用、移動需要のコーディネート、福祉施策と連携した交通モデルの検討 等

#### 戦略2 拠点の機能強化

主な事業: 交通結節点における利用環境整備、自治振興センター等の交通拠点化、移動需要の創出 等

#### 戦略3 拠点間を結ぶ公共交通軸の確保・強化

主な事業: 都市拠点における回遊性向上、都市拠点へのアクセシビリティ向上、幹線・支線の連携強化 等

#### 戦略4 公共交通を活かしたまちの賑わい創出

主な事業: 観光二次交通ネットワークの構築、観光・交流促進と連携した公共交通の魅力向上 等

#### 戦略5 わかりやすい情報提供とコミュニケーション

主な事業: わかりやすい情報提供、地域住民の参画 等

#### 戦略6 地域交通の人材確保・育成とマネジメント体制の構築

主な事業: 公共交通の担い手育成・確保、新たな運転人材の活用 等

#### 戦略7 交通事業者の経営安定化と公共交通の効率化

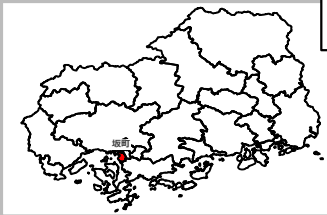
主な事業: 経営安定化に関わる支援、新たな収入モデルや多様な料金体系の導入、公共交通の効率化 等

#### 戦略8 計画のマネジメント体制の構築

主な事業: 地域に適した運用体制構築、地域・住民参加型による公共交通づくりの推進 等



# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 坂町地域公共交通会議（計画策定事業）の概要



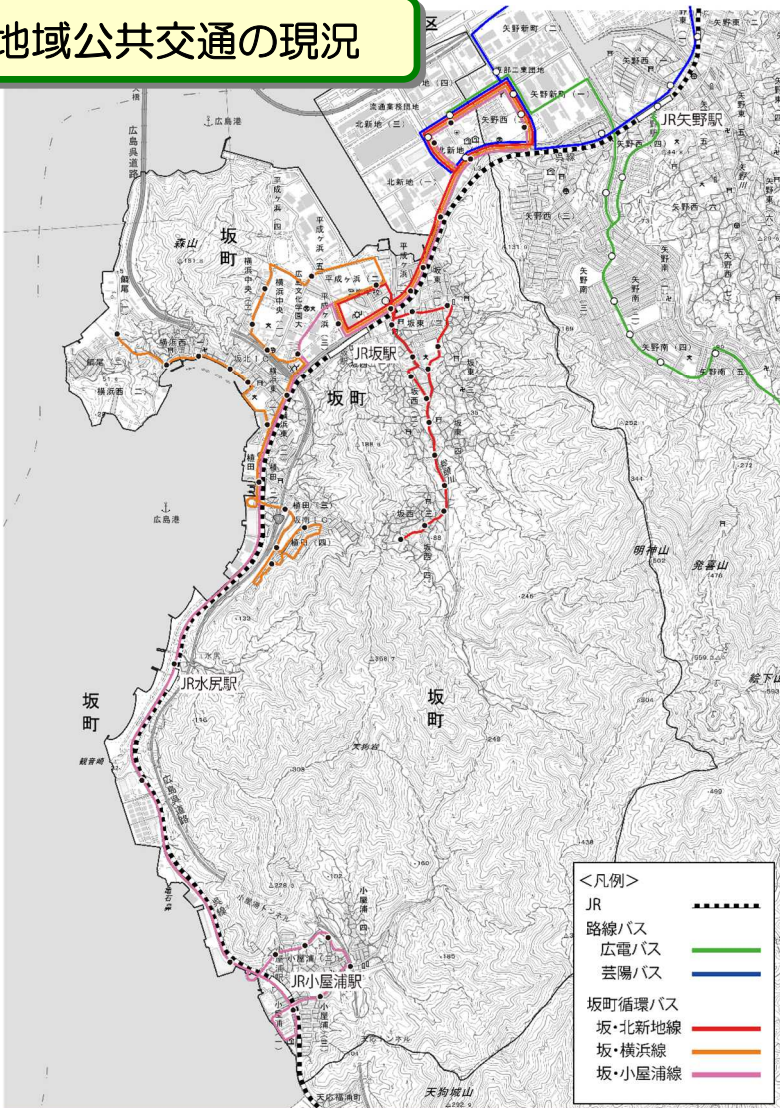
## 坂町の概要

- ・人口 12,582人(令和2年国勢調査)
- ・面積 15.69km<sup>2</sup>

## 坂町地域公共交通会議の構成員

広島県 坂町 広島電鉄(株) (一社)広島県タクシー協会 学識経験者 坂町住民福祉連絡協議会 坂町交通安全協会 中国運輸局広島運輸支局 広島安芸商工会坂支所 私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部 海田警察署西日本旅客鉄道(株) 広島市

## 地域公共交通の現況



## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR呉線
- ・4条バス路線：広電バス 1系統、芸陽バス 1系統
- ・自家用有償旅客運送（坂町循環バス） 3路線
- ・高齢化率30.2%

## 具体的な課題・問題点

- ・高齢者など交通弱者への対応
- ・人件費の高騰等による行政負担の増加
- ・住民の生活交通手段としての持続可能な運行体制の構築
- ・住民ニーズに即した情報提供や利用のきっかけづくり
- ・バス停など公共交通の利用環境の改善・整備



## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・現況調査（上位・関連計画、人口・人流、高齢化、公共交通網 等）
- ・アンケート調査（坂町住民、循環バス利用者、路線バス利用者）
- ・バス乗降者数調査（坂町バス停等、主要バス停）
- ・ヒアリング調査（利用者座談会、交通事業者、循環バスドライバー 等）
- ・地域公共交通計画の作成

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 5回開催
- ・第1回（5月23日）  
業務の発注に関する事務の確認
  - ・第2回（8月28日）  
検討の進め方の確認  
調査の進め方の確認
  - ・第3回（12月24日）  
調査の結果について  
目指す姿など施策の方針の確認  
事業評価について
  - ・第4回（1月中旬～下旬予定）  
計画素案について検討
  - ・第5回（3月中旬）  
素案の修正箇所の確認  
計画の採択

## 地域住民の意見の反映

- ・本年度9月に町民（15歳以上）2,500人を対象にアンケート調査を実施し、1,368人の回答を集計（回収率55%）。
- ・並行して循環バス利用者アンケート調査を実施し、170人が回答。
- ・12月3日に坂町循環バス利用者座談会を開催し各地域から13名が参加、改善要望等のヒアリングを行った。

## 事業実施の適切性

- ・事業が計画どおり適切に実施された。
- ・地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

- ・各路線毎の利用状況を調査し、地域の現況や公共交通の利用実態について整理を行った。その結果、坂町循環バスは「坂町の暮らしにとって重要なもの」という認識が確認できた一方、「待合環境の改善」「利用促進やきっかけづくり」等の課題も確認された。
- ・今後は調査結果を踏まえ、地域公共交通計画の検討・とりまとめを行う予定である。



## 地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

- ・これまで実施した調査結果等を踏まえ、右記の構成案のとおり計画を策定する方針である。
- ・とりまとめにあたっては、「地域公共交通のアップデートガイドンス」（国土交通省、令和7年）を踏まえ、シンプルで一貫性のある構成に留意する。

### <計画の構成案>

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1.計画の構成等      | 3.施策・事業と実施主体         |
| 1-1.策定の趣旨     | 3-1.施策・事業            |
| 1-2.計画の位置付け   |                      |
| 1-3.計画期間・区域   | 4.KPI・目標値の設定         |
|               | 4-1.KPI・目標値          |
| 2.基本的な方針      | 5.PDCAスケジュール         |
| 2-1.前計画の総括    | 5-1.協議会・検討委員会のスケジュール |
| 2-2.地域交通が目指す姿 |                      |
| 2-3.課題の設定     |                      |

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 大崎上島町公共交通連携協議会（計画策定事業）の概要



## 大崎上島町の概要

- 平成15年4月に3町が合併
- 人口 7,158人（令和2年10月現在）
- 面積 43.11平方キロメートル

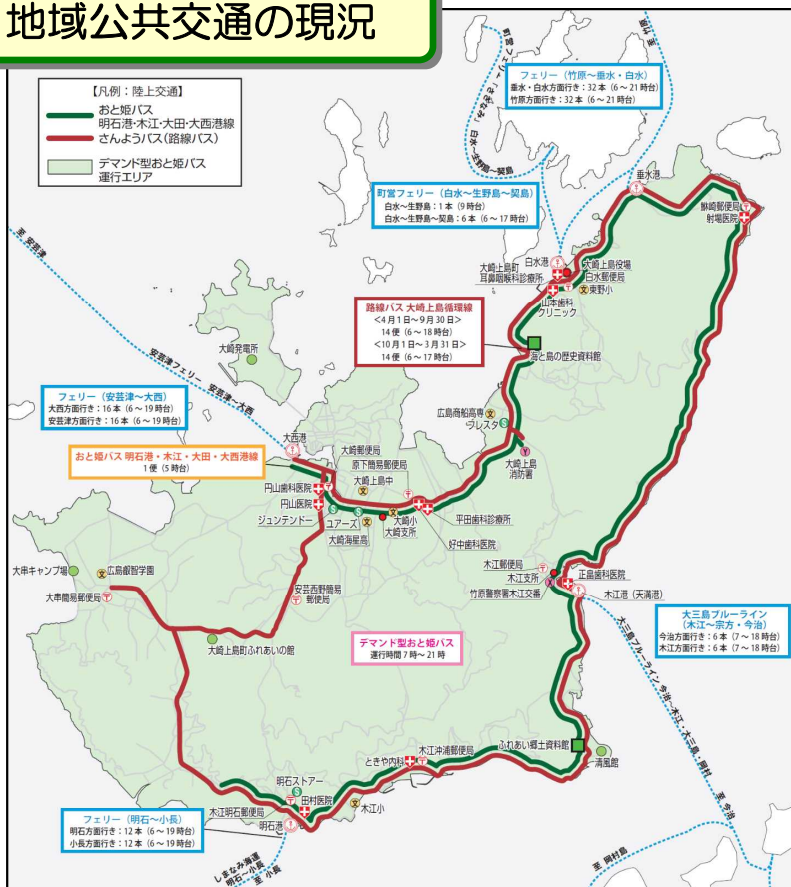
## 大崎上島町公共交通連携協議会の構成員

広島県 大崎上島町 さんようバス(株) 山陽商船(株) 大崎汽船(株)  
 広島県旅客船協会 学識経験者 大崎上島町議会 大崎上島町連合区長会  
 大崎上島町商工会 大崎上島町社会福祉協議会 大崎上島町地域女性連合会  
 大崎上島町観光協会 中国運輸局 竹原警察署

## 地域公共交通の現状

- ・航路: 竹原航路、安芸津航路、明石-小長航路、今治-木江-大三島航路、白水-契島-生野島航路
- ・4条バス路線: 民間バス(さんようバス)、町営コミュニティバス(おと姫バス)
- ・福祉移送サービス: 大崎上島町社会福祉協議会(町全域)

## 地域公共交通の現況



## 具体的な課題・問題点

- ・人口減少や高齢化による利用者数の減少
- ・地域や家族で移動を支える環境の変化(核家族化の進展等)
- ・近所の生活施設やサービスの減少
- ・地域公共交通(バス)の利用意識の低さと将来への不安
- ・サービスを支える町の負担増加



## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・公共交通に関する現状及び上位計画整理
- ・住民のニーズ調査、事業者意向調査 ・課題の抽出
- ・必要な事業や実施主体の検討 ・協議会開催 ・計画(案)のとりまとめ

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況（3回開催）
- ・第1回（6月2日）  
計画策定の進め方の確認
- ・第2回（11月4日）  
地域公共交通体系づくりの方針検討
- ・第3回（1月23日）  
事業評価、アンケート結果、素案確認
- ・第4回（3月）（予定）

## 地域住民の意見の反映

- ・本年度9月に町内3,223世帯を対象にアンケート調査を実施し、1,091世帯から回答を集計（世帯数での回収率33.9%）

## 事業実施の適切性

- 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

## 調査事業の結果の概要

- ・人口、社会経済指標や各公共交通の利用者数、運航経費等の基礎データや公共交通の状況を整理した。
- ・公共交通の町民アンケート調査や交通事業者へのヒアリングを実施し、公共交通に対する課題やニーズを広く収集し、計画内容の検討資料としてまとめた。
- ・素案を作成後、今後の協議会の検討を経て、内容を精査しとりまとめる。



## 地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

今後は、町民アンケートにおいて得た各公共交通のニーズ及び各公共交通事業者に実施したヒアリングの内容を鑑みた上で、既存の公共交通を基盤としつつ、離島自治体に適した新たな交通体系を構築するよう検討し、計画内容を精査する。

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 三江線沿線地域公共交通活性化協議会(計画策定事業)の概要



## 三江線沿線地域を含む6市町の概要

- 沿線市町 江津市、川本町、美郷町、邑南町、三次市、安芸高田市
- 人口 11万7千人(令和2年10月現在)
- 面積 2,394平方キロメートル

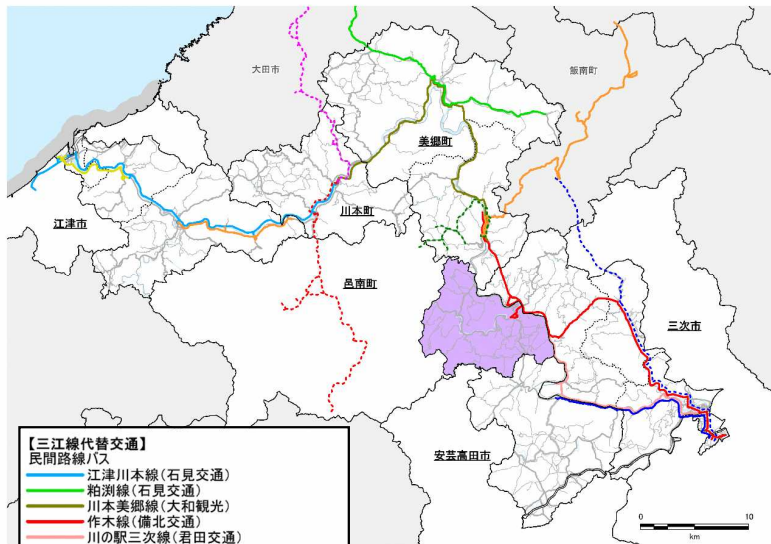
## 三江線沿線地域公共交通活性化の構成員

公共交通事業者、道路管理者、公安委員会、地域公共交通利用者、関係地方公共団体、島根運輸支局ほか

## 地域公共交通の現状

- (主な公共交通)
- ・鉄道：JR山陰本線、芸備線など
  - ・4条バス路線：石見交通、備北交通、大和観光など
  - ・自家用有償旅客運送(羽須美区域運行)
- (三江線沿線地域を含む6市町の高齢化率) 41.3%

## 地域公共交通の現況



- 【三江線代替交通】  
民間路線バス  
江津川本線(石見交通)  
粕淵線(石見交通)  
川本美郷線(大和観光)  
作木線(備北交通)  
川の駅三次線(君田交通)
- 市町が運行するバス  
お太助バス 式敷三次線  
江津市生活バス 江津川平線  
江津市生活バス 鹿賀線  
飯南町生活路線バス 谷・赤名・頓原線
- 区域運行  
はすみデマンド(NPO法人はすみ振興会)
- 【三江線沿線地域に関する市町間交通】  
邑南川本線(おおなんバス)  
川本線(石見交通)  
布施線(大和観光)  
赤名線(備北交通)

## 具体的な課題・問題点

- ・人口減少、高齢化への対応
- ・地域間の拠点を結ぶ移動手段の確保
- ・利用者のニーズに即したダイヤの設定
- ・バス停、車両など公共交通の利用環境の改善

## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・上位・関連計画の整理
- ・移動実態およびニーズ把握
- ・データ活用の基礎づくり
- ・地域公共交通の問題点、課題等の整理
- ・ワーキンググループの開催
- ・公共交通計画素案のとりまとめ

## 協議会における検討

- ワーキンググループの開催状況（3回開催）
- ・第1回（8月5日）課題の整理
  - ・第2回（9月2日）将来像の検討等
  - ・第3回（10月16日）事業内容、KPI検討等
- 協議会の開催状況（1回開催）
- ・第1回（11月14日） 計画素案の審議

## 地域住民の意見の反映

代替交通の利用者を対象に、サービスの評価や改善点、利用状況などを把握するため、アンケート調査を実施した。

## 事業実施の適切性

調査事業が計画どおり適切に実施された。地域公共交通計画策定に必要な調査ができ、計画素案をとりまとめることができた。

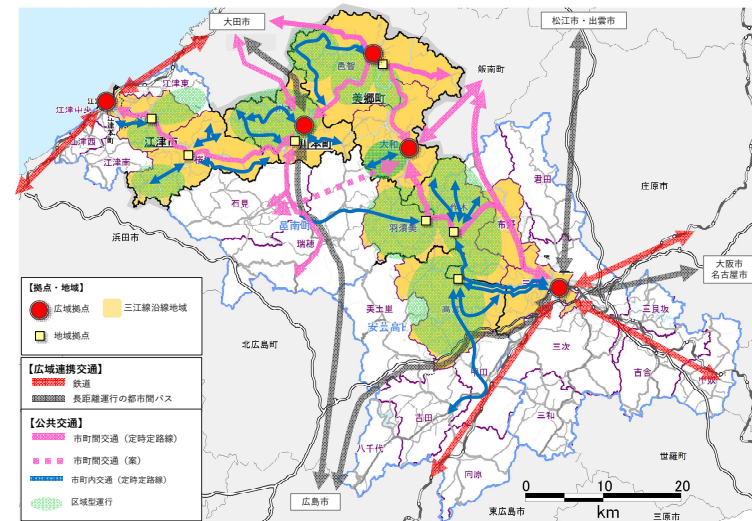
## 調査事業の結果の概要

- ・代替交通利用者アンケート調査の集計、分析を行い、地域の移動実態やニーズの把握を行った。
- ・アンケートや関係者へのヒアリングをもとに、課題を整理した。
- ・沿線市町や交通事業者で構成するワーキンググループにおいて、沿線地域の公共交通の将来像等を検討し、次期計画で取り組む事業や目標値などの検討を行い、協議会で諮るための計画素案を取りまとめた。



## 地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

三江線代替交通を含む三江線沿線地域における広域的な公共交通ネットワークの充実とともに、誰もが安心して利用できる公共交通を提供することに加え、地域住民をはじめとする様々な方々が関わることにより、沿線地域活性化の礎となる公共交通体系を構築する。





# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 真庭市地域公共交通会議（地域公共交通調査事業）の概要

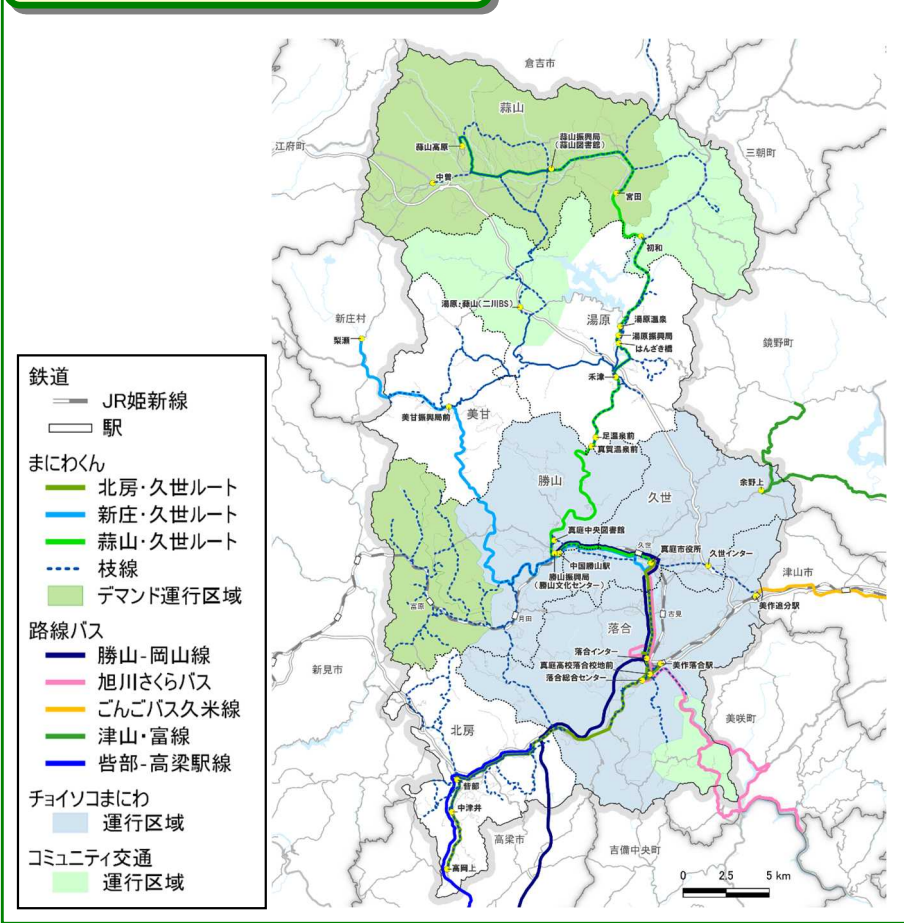
## 真庭市の概要

- 平成17年3月に9町村が合併
- 人口 4.27万人（令和2年度国勢調査）
- 面積 828.53平方キロメートル

## 地域公共交通会議の構成員

真庭市 中鉄北部バス(株) 備北バス(株) 岡山県タクシー協会 西日本旅客鉄道(株) 私鉄労組 市シニアクラブ 民生委員協議会 市地域生活支援センター 商工会女性部 観光局 学校（小・中・高） 社会福祉協議会 学識経験者 中国運輸局（岡山運輸支局） 岡山県 福祉有償運送運営協議会 真庭警察署

## 地域公共交通の現況



## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR姫新線
- ・4条バス路線：中鉄北部バス、備北バス 2系統
- ・乗合タクシー：チョイスコまにわ
- ・自家用有償旅客運送（まにわくん、旭川さくらバス、ごんごバス久米線、津山・富線）
- ・福祉移送サービス（真庭市を出発・到着地として真庭市内または隣接する市町村地域）
- ・高齢化率36.7%

## 具体的な課題・問題点

- ・過疎化、高齢化への対応
- ・生活交通維持確保に係る行政負担の抑制
- ・枝線ルートの見直しによる利便性の向上
- ・交通空白の解消



## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・市内公共交通に関する現況調査
- ・利用者ニーズの把握
- ・移動実態調査
- ・地域経交通会議・分科会の開催
- ・真庭市地域公共交通計画（案）のとりまとめ
- ・パブリックコメントの実施

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 4回開催
- ・第45回本会議（6月17日）  
調査の概要及び進め方の確認
  - ・第51回分科会（8月26日）  
本市地域公共交通の現状と課題  
地域公共交通計画の策定方針の議論
  - ・第46回本会議（10月1日）  
本市地域公共交通の課題及び  
地域公共交通の姿の方向性の確認
  - ・第47回本会議（12月19日）  
事業評価について

## 地域住民の意見の反映

- ・本年3月に住民向けアンケート調査を実施し、1,880人の回答を集計。

## 事業実施の適切性

- 地域公共交通計画改定事業が計画どおり適切に実施された。
- ・地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

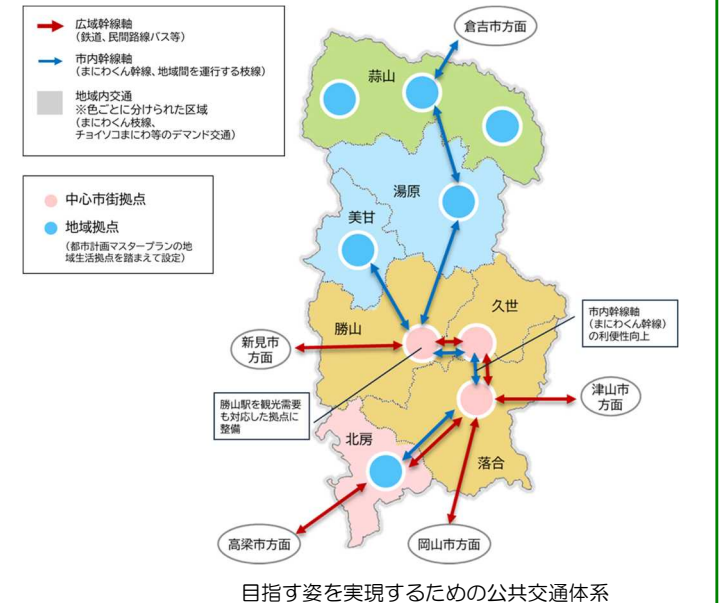
- ・多角的な実態分析：地理条件や施設立地の分析に加え、市民アンケートや広域的な移動データ（パーソントリップ調査）を活用し、現状とニーズを詳細に把握
- ・現場の声の反映：交通事業者や隣接自治体へのヒアリングを通じて、運行現場の課題や広域連携の必要性を抽出
- ・専門的知見による合意形成：地域公共交通会議や分科会での活発な審議を経て、実効性の高い施策の方向性を策定

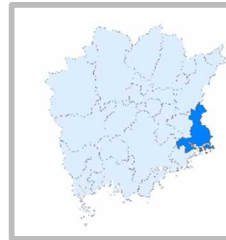


## 地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

### 地域公共交通の目指す姿

1. 幹線軸（JR姫新線、民間バス、まにわくん幹線）と地域内交通（まにわくん枝線やチョイソコマにわ等のデマンド交通）を組み合わせ、市内の目的地や近隣市町まで移動ができる
2. 日常の様々な移動需要（通学・通勤・通院・買物）に対応する交通手段が確保できている
3. 運転免許返納後（自家用車がなくて）も安心して生活ができる
4. 公共交通を通じて観光客や関係人口との交流・賑わいが生まれる
5. 関係者や地域住民が適切に関わり合い、みんなで公共交通を支えている





# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 備前市公共交通会議(計画策定事業)の概要

## 備前市の概要

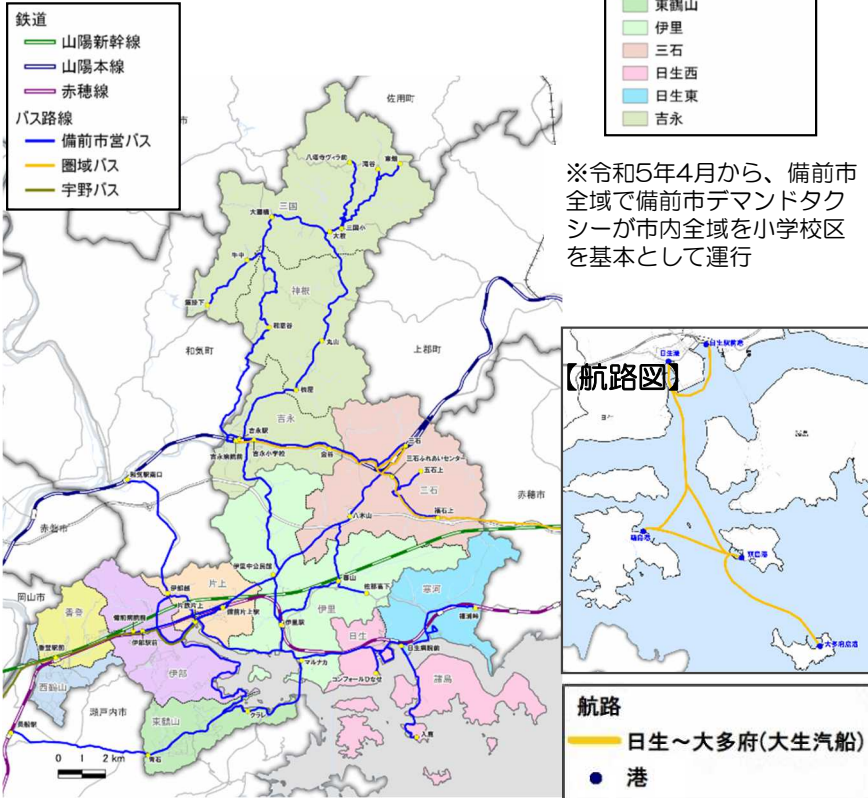
- 平成17年3月に旧備前市、日生町、吉永町の1市2町が合併
- 人口 3万2,320人(令和2年度国勢調査より)
- 面積 258.13平方キロメートル

## 備前市公共交通会議の構成員

備前市、宇野自動車株式会社、岡山県タクシー協会和気支部、日生交通有限会社、住民又は利用者代表、中国運輸局、岡山県備前県民局、備前警察署、学識経験者、JR西日本、岡山県、瀬戸内市、和気町

## 地域公共交通の現況

### 【バス・鉄道の路線図】



## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽本線・赤穂線
- ・航路：大多府～日生航路
- ・4条バス路線：宇野バス(1路線)、東備西播定住自立圏圏域バス
- ・自家用有償旅客運送：備前市営バス(10路線)、デマンド型乗合タクシー
- ・地域主体による交通空白地有償運送：ささめあい号(吉永町笹目地区)

## 具体的な課題・問題点

- ・人口減少による公共交通利用者の減少
- ・高齢化による自力での移動が困難になる住民の増加
- ・自家用車に依存した生活スタイルの増加
- ・公共交通の運行に係る市の財政負担増加
- ・地域によって異なる移動ニーズへの対応

## 調査事業の実施

### 調査事業の概要

- ・地域公共交通の現状分析(人口、潜在ニーズ、公共交通の利用状況等)
- ・住民アンケート調査の実施(移動ニーズ、公共交通の評価・利用意向等)
- ・関係者ヒアリング(交通事業者、市関係部署)
- ・地域公共交通計画の作成(課題とその対応方針の整理、目指す姿・施策の設定、パブリックコメントによる住民意見反映等)

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催予定
- 第2回（11月26日）  
調査結果報告と現状課題に対する検討
- 第3回（1月予定）  
地域公共交通計画の素案に対する検討
- 第4回（3月予定）  
地域公共交通計画案に対する検討

## 地域住民の意見の反映

- 本年度9月に市内3,000世帯を対象にアンケート調査を実施し、1,325件の回答を集計（世帯数での回収率44.2%）。
- 地域公共交通会議

## 事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- 地域公共交通計画策定に必要な調査ができた。

## 調査事業の結果の概要

- 備前市では、市営バスやデマンド型乗合タクシーにより面的には市内全域をカバーする公共交通網を構築できているものの、公共交通の実態分析や住民アンケート調査等による現状診断から、多額の支出に対して非効率な路線の存在やニーズとのミスマッチ、情報提供等の課題を把握した
- 関係者ヒアリングでは、他部門が所管する施策との連携や運転者不足等の供給側の視点に立った問題点の把握を行う予定



## 地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

各種調査結果より次の問題点・課題を抽出した。今後は、関係者ヒアリング等によって課題を掘り下げるとともに、課題への対応方針を検討し、持続可能な地域公共交通を目指す上で必要な施策・事業を検討する。

供給側の認識と実態のギャップ(問題点)	公共交通の現状課題
便数や交通モードの選択肢等、量的には充実しているものの地域の移動実態や公共交通のサービスレベル、ニーズに合わせたサービスの提供ができていない	ニーズに合わせた交通サービスの提供
複数の公共交通に関する情報が整理されておらず、利用までのハードルが高い	公共交通に関するわかりやすさ向上
整備した交通結節点(備前片上駅)が生活拠点と離れているため交通の拠点として認知されておらず、広い市域を有するため市の中心部である片上地域以外にも、乗り継ぎ等の結節点となっている場所が複数存在し、そこでも安心して公共交通を待つことができる環境が必要	交通結節点の拠点機能向上
多額の公的支出に対し、市全体で見た公共交通利用は限定的で非効率な路線も存在する	持続可能性の確保
「場所」は解消されたが、タクシーを含めた「時間」の制約が存在している	時間的な交通空白への対応

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 周南市地域公共交通会議（計画策定事業）の概要



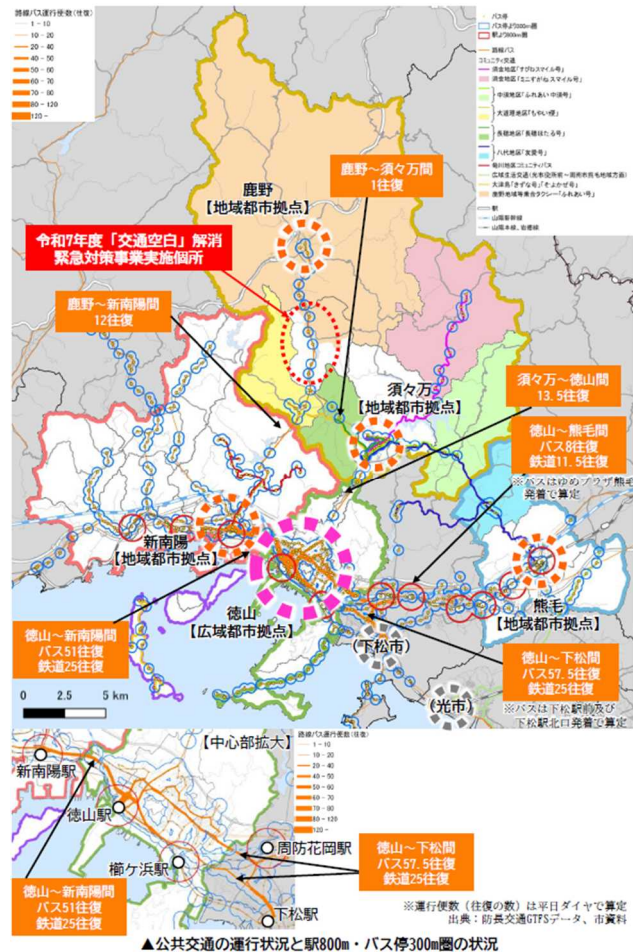
## 周南市の概要

- 平成15年4月に2市2町が合併
- 人口 137,540人（令和2年度国勢調査）
- 面積 659.29平方キロメートル

## 周南市地域公共交通会議の構成員

周南市、山口運輸支局、防長交通(株)、西日本旅客鉄道(株)、大津島巡航(株)、徳山地区タクシー協会、市民・利用者代表、私鉄中国地方労働組合防長交通支部、周南警察署、光警察署、中国地方整備局、山口県、福祉関係事業者、学識経験者

## 地域公共交通の現況



## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽新幹線 JR山陽本線 JR岩徳線
- ・航路：周防灘航路 大津島航路
- ・バス路線：防長交通(株) 57系統数
- ・コミュニティ交通：（交通空白地有償運送）6地区（大道理、八代、須金、中須、長穂、菊川）（4条乗合）2地区（鹿野、熊毛～光市）（その他）大津島コミュニティバス
- ・タクシー営業所数：11営業所
- ・高齢化率 33.8%（令和2年国勢調査）

## 具体的な課題・問題点

- ・近年の人口減少・少子高齢化の進展などを背景として構造的な運転士不足が深刻化し、中山間地域のみならず市街地周辺においても路線バスの減便や路線廃止が相次いでいる。
- ・市街地と比較して既存の移動手段の利用が困難な中山間地域などでは、生活利便施設が立地し、かつ路線バス網と接続する地域への移動手段の確保が市民の生活の質の向上や外出機会の創出等のために必要不可欠であることから、コミュニティ交通の運行を実施。しかしながら、人口減少等により利用者が減少傾向にある地区も複数存在。
- ・路線バス網はJR徳山駅を中心として放射状に伸びる形で構成されているが、利用者は30年前と比較すると4分の1程度まで減少。また、商業施設等の中には、新たに立地したものや撤退したのものもあり、移動ニーズの変化が推測されるが、運転士不足により既存路線の維持も困難な状況にあり、根本的な再編には至っていない。
- ・こうしたことから、既存のバス路線の見直しと合わせた効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークの構築が必要となっている。



## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・地域の公共交通等に係る現況等の調査
- ・公共交通に係るニーズ把握と問題点・課題の整理
- ・改訂計画（案）のとりまとめ
- ・地域公共交通会議の開催

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況：5回開催
- ・第1回（4月21日）【文書協議】  
改訂計画に係る予算案の承認
  - ・第2回（5月20日）  
改訂計画の協議予定の報告
  - ・第3回（11月13日）  
改訂計画の骨子案の協議
  - ・第4回（12月25日）  
改訂計画の素案の協議
  - ・第5回（3月予定）  
改訂計画の策定の報告等

## 地域住民の意見の反映

- ・8月に4,000世帯を対象にアンケート調査を実施
- ・交通事業者、庁内関係各課にヒアリングを実施

## 事業実施の適切性

- ・今後の周南市にとって望ましい持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るための調査が実施できた

## 調査事業の結果の概要

- ・周南市における上位・関連計画である「第3次周南市まちづくり総合計画」、「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」等を踏まえつつ、他の施策とも連携した持続可能な公共交通ネットワークのあり方についての基本方針の案をとりまとめた。
- ・基本方針の案に沿って、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた目標、事業内容、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた改訂計画の案を取りまとめた。



## 地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

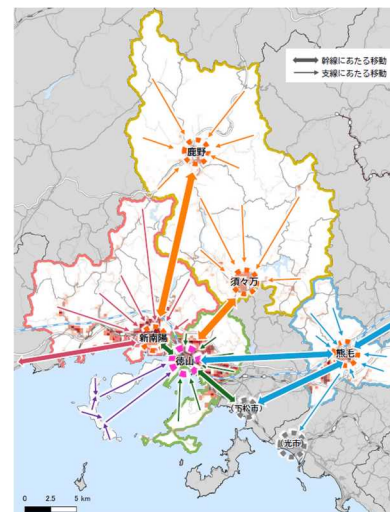
### 【基本方針】

- ①鉄道とバスの連携による利便性の高い公共交通ネットワークの形成
- ②健全な公共交通運営に向けた事業環境の確保
- ③多様な主体の連携による公共交通を積極的に利用する環境の創出

### 【施策】

- ①国や県と連携した幹線の維持
- ②交通結節点・待合環境の整備
- ③国や県と連携した路線・航路の維持
- ④交通空白の解消に向けた取組
- ⑤他の交通手段との連携
- ⑥運行の担い手確保に係る取組の推進
- ⑦公共交通の費用負担構造の見直し
- ⑧施設・車両の更新
- ⑨DXの推進
- ⑩情報発信の推進
- ⑪多様な主体と連携した公共交通の利用促進
- ⑫JR岩徳線の利用促進、空白時間帯の軽減
- ⑬公共交通を利用した通勤の促進
- ⑭高齢者や高校生を対象とした公共交通の利用促進

※本事業評価提出時点の素案の内容を記載



▲本市の目指すべき公共交通ネットワーク